

『MASUNAGA designed by Kenzo Takada』

『Mineral Polarized Sunglasses』  
ガラス偏光レンズ使用

『MASUNAGA since 1905』



『MASUNAGA G.M.S.』

『MASUNAGA 光輝』



## EVENT

## 『第31回 国際メガネ展 IOFT2018』

日 時：2018年10月22日(月)～24日(水) 10:00-18:00  
(最終日のみ17:00終了)  
場 所：東京ビッグサイト  
(東京都江東区有明3丁目)  
ブース：6-38

## 『2018aw新商品発表会』

日 時：2018年10月26日(金)～28日(日) 11:00-20:00  
場 所：MASUNAGA1905 青山店(東京都港区北青山2-12-34)  
阪急三番街店(大阪)・LACHIC店(名古屋)  
学園前店(奈良)・2k540店(東京)  
阿佐ヶ谷店(東京)

機能美に焦点を絞りデザインしたチタンフレームに  
最も透明度が高く余分な光をカットする  
「ガラス偏光レンズ」の本物のサングラス他

『MASUNAGA since 1905』

## 2018aw モデルのご案内

10/22～24東京ビッグサイトにて・10/26～28全直営店にて発表

明治38年(1905年)に「眼鏡産業の祖」と称される初代 増永五左衛門が福井に初めて眼鏡産業を持ち込み創業し、高級眼鏡フレームの企画から製造販売まで一貫して行う老舗、増永眼鏡株式会社(福井県福井市、代表取締役：増永宗太郎)は、フランス・パリで開催された「Silmo 2018」にて先行発表した2018awのニューモデルを、2018年10月22日(月)～24日(水)まで東京ビッグサイトで開催する「第31回 国際メガネ展 IOFT2018」にて発表いたします。また、MASUNAGA1905全直営店にて10月26日(金)～28日(日)の3日間、2018aw新商品発表会を開催予定です。世界でコアユーザーの多い天然のミネラルガラスを使用した「ガラス偏光レンズ」を採用した新サングラスや、世界的デザイナー高田賢三氏とのコラボレーションモデルなど、「本物」を求める方に向けた全28型の新作を取り揃えます。

## 『Mineral Polarized Sunglasses』

MASUNAGAが提案する本物のサングラス。王道と言えるメタルティアドロップ型でチタン素材で機能美に焦点を絞ってデザインされたフレームに、ガラス偏光レンズを採用し、「本物」を求める人たちにに向けた新サングラスシリーズです。

【モデル】GMS-113 SG  
【価格】¥45,000  
【素材】チタン+ガラス偏光レンズ  
【モデル】3型各3～4色展開



## ガラス偏光レンズの特徴

使用したユーザーはその視界のクリアさに驚きます。数あるレンズの中でもガラスの透明度が一番高いため、プラスチックレンズでは得られない「まるで目の前にフィルターを掛けたような視界」を感じることが可能。海外では「ミネラル・ガラス」と呼ばれ、コアユーザーが多い。また傷が一番つきにくい素材であり衝撃にも強く、落とすといった扱いをしなければ長期間使用でき、無機質のため温度変化・経年劣化も少なく10年以上使うことが可能。様々なものに反射して生じる光を取り除きクリアな視界が得られるのも特長で、ギラつきや眩しさを減らし視界のコントラストを高めることにより、日常の幅広いシーンで効果を発揮する。

## 『MASUNAGA designed by Kenzo Takada』

世界的ファッションデザイナー 高田賢三氏とのコラボレーション。JunoはMASUNAGA by Kenzo Takadaの「シークレット・トレジャー」のコンセプトによってデザインされたスクエアシェイプのプラスチックフレームです。ブリッジ裏面に別のメタルパーツをつけることで、ブリッジ両面に異なるアラベスク模様を彫り込んでいます。また、テンプル合口にも彫金模様が施されています。その他にもプラスチックとメタルが一体化したコンビネーション・テンプルや、高田家の家紋である桔梗をあしらったモダンのメタルパーツなど、こだわりが詰まっています。

【モデル】Juno  
【価格】¥65,000  
【素材】アセテート+チタン  
【モデル】7型各3色展開



## 『MASUNAGA since 1905』

FUTURAはパウル・レナーという書体デザイナーによって1927年に生み出された書体フォントに由来します。この書体は幾何学的形態、特に円をベースにしており、FUTURAのフロントデザインはこの書体の持つ現代性とクリーンなエレガンスを表現しています。

【モデル】FUTURA  
【価格】¥44,000  
【素材】チタン  
【モデル】4型各3～4色展開



## 『MASUNAGA G.M.S』

1933年に昭和天皇献上用として誕生したモデルをルーツとしたシリーズ。トレンドのツープリッジに、多角形（六角形）シェイプを取り入れた今まさに旬なデザインで、各部の模様や構造などディテールにも凝った作りが存在感を醸し出しています。

【モデル】GMS-115 SG  
【価格】¥42,000  
【素材】チタン  
【モデル】7型各3～6色展開



## 『MASUNAGA 光輝』

1970年に大阪万博のタイムカプセルに収納されたCUSTOM72を現代風にアレンジ。プレスによって模様の施されたテンプルコア、合口飾り、立体的なりベットのが特徴です。

【モデル】光輝 071  
【価格】¥30,000  
【素材】アセテート  
【モデル】2型各3色展開



## 『Kazuo Kawasaki』

川崎和男氏の設計で人間工学に基づいたアイウェアデザイン。腕時計のバックルから発想を得た丁番を採用したストリングリムシリーズです。

【モデル】MP-670-RR  
【価格】¥31,000  
【素材】チタン  
【モデル】5型各3～4色展開



※価格は全て税別 ※専用フレームケース入り

## 【会社・商品に関するお問い合わせ先】

増永眼鏡株式会社 東京事務所 担当：野原弘道 〒107-0061 東京都港区北青山2-12-34

TEL：03-3403-1918 FAX：03-3403-1905 MAIL：nohara@masunaga-opt.co.jp URL：http://www.masunaga-opt.co.jp

## 【取材・掲載に関するお問い合わせ先】

株式会社SUZU PR COMPANY 担当：鈴江恵子 TEL：080-6390-8284 MAIL：info@suzu-pr.com URL：http://suzu-pr.com/